

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	障害者スポーツ・文化芸術活動振興		担当部局	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度		担当課室	企画課自立支援振興室		君島淳二	
会計区分	一般会計		施策名	VII-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	スポーツ基本法(法律第78号)第33条第1項		関係する計画、通知等	平成10年7月16日障第420号厚生省大臣官房障害保健福祉部長「全国障害者スポーツ大会について」、平成13年5月31日障発第241号厚生労働省社会援護局障害保健福祉部長「障害者芸術・文化祭の開催について」			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者のスポーツ、芸術及び文化活動への参加を通じて、スポーツの楽しさを体験し、障害者の生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加の促進に寄与することを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	<p>1. 全国障害者スポーツ大会開催事業(開催地都道府県に55百万円の定額補助:10/10) 障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の促進に寄与することを目的とする。</p> <p>2. 障害者芸術・文化祭開催事業(開催地都道府県に36百万円の定額補助:10/10) 全ての障害者の芸術及び文化活動への参加を通じて、障害者の生活を豊かにするとともに、国民の障害者への理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加の促進に寄与することを目的とする。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	91	91	91	91	91
		繰越し等					
		計	91	91	91	91	91
	執行額	89	91	91			
	執行率(%)	98%	100%	100%			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	障がい者スポーツ大会・芸術文化祭を通じ、国民の理解、障害者の自立と社会参加を促進することを目的としているため、定量的な成果目標を示すことはできない。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	全国障害者スポーツ大会参加選手数	活動実績(当初見込み)		人	3231	3245	3238
					—	(3500)	(3441)
単位当たりコスト	—		算出根拠	全国障害者スポーツ大会の開催県は開催年の3年前から準備に取りかかり、その準備から開催までの費用は数十億円に及ぶが、国の補助は定額であるため、単位あたりコストを算出することはできない。			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	障害者芸術・文化祭の経費	36	36				
	全国障害者スポーツ大会の経費	55	55				
	計	91	91				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	障害者が文化芸術活動、スポーツを行うことができる環境を整備することにより、障害者の社会参加に寄与している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	障害者基本法では、「国は、障害者が円滑に文化芸術活動、スポーツを行うことができるようにするため、施設、設備その他諸条件の整備、文化芸術、スポーツ等に関する活動の助成その他必要な施策を講じなければならない」とされている。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	全国障害者スポーツ大会や芸術文化祭開催に必要な会場借料などの必要な経費のみが事業運営に使用されているため、適切に事業が実施されている。
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	全国障害者スポーツ大会及び障害者芸術・文化祭を開催することにより、障害者の社会参加に関する理解が深まる。また、全国障害者スポーツ大会の参加人数見込みと実際の参加者数は概ね一致し、障害者の社会参加の促進に寄与している。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○当該補助金は事業の性格上、開催地都道府県に対して定額で補助を行っており、執行率、その水準から鑑みても適切な支出である。</p> <p>○平成19年12月に障害者施策推進本部にて決定された「重点施策実施5か年計画」において、スポーツ・文化芸術活動の振興施策として、国は全国の障害者が参加する「全国障害者スポーツ大会」及び「全国障害者芸術・文化祭」を開催するとしている。</p> <p>○障害者基本法では、「国は、障害者が円滑に文化芸術活動、スポーツを行うことができるようにするため、施設、設備その他諸条件の整備、文化芸術、スポーツ等に関する活動の助成その他必要な施策を講じなければならない」とされている。</p> <p>○また、平成23年6月24日に公布された「スポーツ基本法（法律第78号）」では、「国は、全国障害者スポーツ大会の円滑な実施及び運営に資するため、これらの開催者である日本障害者スポーツ協会及び開催地の都道府県に対し、必要な援助を行うものとする」とことが規定されている。</p> <p>○これらのことから、今後も引き続き主催者である国の責務を果たすため、事業を継続していく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	全国障害者スポーツ大会の開催に必要な経費であり、必要性や執行の観点からも適切であるため、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
現状通り	—		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	505	平成23年行政事業レビュー	0458

(23年度実績の例)

厚生労働省
91百万円

〔 全国障害者スポーツ大会及び障害者芸術・文化祭の主催者として
事業費の一部を開催県等に助成 〕

【補助】

A. 埼玉県

第11回障害者芸術・文化祭
36百万円

〔 障害者芸術・文化祭の事業の実施 〕

【補助】

B. 山口県

第11回全国障害者スポーツ大会
55百万円

〔 全国障害者スポーツ大会の事業の実
施 〕

(注) 計数は各欄で端数処理(四捨五入)している。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.埼玉県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	障害者芸術・文化祭開催経費	36			
計		36	計		0
B.山口県			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	全国障害者スポーツ大会開催経費	55			
計		55	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	埼玉県	障害者芸術・文化祭の開催	36		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	山口県	全国障害者スポーツ大会の開催	55		